

「今週一枚」



ノウサギ 学名 (*Lepus brachyurus brachyurus*) ウサギ目ウサギ科

本州、四国、九州と周辺島嶼に住む日本固有種です。4亜種に分かれ、本州北部のものがトウホクノウサギ、本州中南部から四国、九州に分布するものがキュウシュウノウサギ、佐渡産がサドノウサギ、隠岐諸島産がオキノウサギと呼ばれます。なお、北海道には別種のユキウサギがいます。

体長が50cm前後で、平地から亜高山帯までの森林や草原に生息します。植物食で、さまざまな草や樹木の葉、芽、枝、樹皮などを食べます。造林地で植栽された苗木を食べることがあり、林業被害として扱われます。ヨーロッパに住むアナウサギのように巣穴を作ることはありません。雌は春から秋まで数回出産しますが、幼獣を草むらに隠したまま餌を食べに出かけるので、そのような幼獣が「親から離れて迷子になった仔ウサギ」として、人間につかまって保護されてしまうことがあります。仔ウサギを人間が飼育するのは非常に難しいので、もしもノウサギの子供を見つけても、連れ去らずにそっとしておいてください。（佐藤重穂）

（No.98 2003.8.12 掲載）